

# あなたと街のかけはしになります

2024年3月 No.24

中川地区社会福祉協議会だより

## ◎令和5年度施設見学研修会 令和5年12月12日(火)～13日(水)

施設研修先：栃木県足利市 指定障害者支援施設 『こころみ学園』

### ☆施設紹介☆

1950年代、足利市の特殊学級の中学生たちと担任川田先生によって山の急斜面にブドウ畑が開墾されました。そこでは急斜面なので重機が入らない為、炎天下や寒風の中でも一年中、何でも人間の手でやらなければならない農作業が必要でした。知的障害を持った人が毎日コツコツと働く場所ができました。現在は約140名の利用者が働き暮らす施設です。詳細は <https://www.cocoromi.or.jp> 社会福祉法人こころみる会等のホームページをご覧ください。

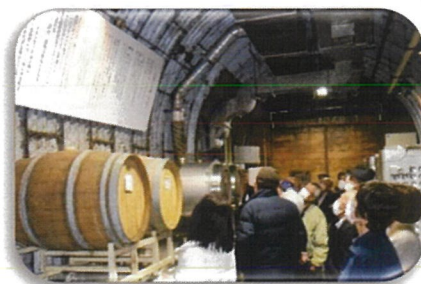


研修当日は雨の中、22名が参加して出発しました。足利市に近づくに連れて雨も上がり、12月にしては寒さも緩んで所どころ晴れ間が覗いている天候になりました。

施設の案内をしていただいた職員の方から、シタケ栽培、ブドウ畑、醸造所、ワイナリーと廻って各所でご説明いただきました。

ブドウを育て収穫しワインを醸造する過程が、どれほどきめ細かい作業の連続か、知ることができました。収穫後、ブドウの枝の剪定、剪定後の枝拾い、ワイヤーや支柱の整備、害虫被害を防ぐための樹皮を剥ぐ作業、有機肥料の施し、花が咲き始めたら、芽かき、誘引、草刈り、虫取り、実が付きすぎないように摘房、傘かけ、収穫…等々、これらの作業を現地で間近に見た急斜面で行っている事に感服しました。

知的障害を持った人が必要とされる場所が、その人達と共同して働くスタッフと共に、一つの組織・会社として機能している事の裏りとして、ワインとして結実しているのです。そして、言うまでもなく、研修に参加したメンバーは、ワイナリーで何本ものワインを購入させていただきました。



↑3種類の試飲…そして購入へ

# ☆第63回お楽しみ会食会☆



猛暑の夏が過ぎ、ようやく秋風が心地よい季節となった10月11日（水）中川西地区センターで、第63回お楽しみ会食会が開催されました。

26名の参加者が集い、前回から名実ともに「会食」もできおしゃべりにも一層楽しい花が咲きました。

今回で2回目となるキャサリン野村さんによる腹話術は、時事川柳あり歌あり掛け合いあり、何よりお揃いのキラキラ帽子で登場した健太くと桜ちゃんの可愛いことに一同食い入るように見入り聞き入っていました。

これは名言…「年寄りに渡る世間はワナばかり」「昔酒、今は病院はしごする」(笑)

キャサリン野村さんは「みなさんの拍手や掛け声が抜群のタイミングで、楽しく演じる事が出来ました。」と、大変喜んでいただけただようです。参加の皆さんも「また参加します！」と次回2月の再会を約し、笑顔で帰路につかれました。

↓中川地区社会福祉協議会 松澤会長挨拶

